

保育現場でも色のジェンダーバイアス解消を

■**接遇の良し悪しは市のイメージにつながる。**
皆) 市民からの電話対応では、上から目線、名前を言わない等不適切な事例がある。認識しているか？改善、研修を。**答)** 苦情やご意見、少数とはいえ認識している。新任研修では接遇に関して座学、ロールプレイング実施。接遇マニュアルを教材とし基本的には職場でのOJTと実践的な対応を行っている。市長からも指示あり、日々の接遇見直しや研修の徹底をしていきたい。
 ■**個人情報保護法改正は自治体の裁量権少ない**
皆) ほぼ国の指示通りの条例改正が求められている。パブコメや附属機関への諮問の予定は？いじめ自殺した死者に関する個人情報開示請求

ができなくなるとの指摘あり。**答)** パブコメや諮問は行う。内容を見極め的確に対応していく。
 ■**皆)** 国分寺市パートナーシップ制度と都が予定している制度との齟齬や後退が無いように。
答) 東京都内で制度導入済の12の首長名で、都に先行自治体の制度利用者への配慮等3点要望した。市民への影響等検証し必要な対応を図る。
皆) 男子が青、女子がピンクのサンダルの保育現場。色のジェンダーバイアス解消の取組は。
答) 厚労省が定める保育指針でも「…性別による決めつけをせず…」とある。研修の実施、他の事例がないか確認も行い制度の周知を図る。
 ■**皆)** わかりやすい目標設定で生ごみ削減を。

立憲・市民フォーラム
 皆川 りうこ



答) 市民一日一人当たり燃やせるごみ367.1g。卵一個分の生ごみ減量で多摩地域1位に近づく。
 ■**皆)** 重層的支援体制整備事業。今年度の取組状況は？相談窓口の名称は重要。地域福祉推進協議会や外国人の方からも意見聴取を。**答)** 事業構築、実施計画の策定、理解促進の為の研修実施。窓口名称はご提案の点も想定している。
 ■**行政防災無線の設置基準は？40か所の公表を。**
答) 設置本数など法令での定めはない。必要な屋外子局数を算出し、スピーカーの数や向き形状等調整している。設置箇所はHP等で公表する。

身近な生活支援の充実と社会教育の尊重を！

◆**自転車交通安全対策について。**自転車利用者の教育・啓発は重要。**問)** 市の対策は。**市)** 自転車交通安全教室、中学校を対象に今年度は保護者参加で開催。マナーキャンペーン、市作成の自転車子ども乗せルールブックを市内の幼稚園、保育園に配布等。**問)** 町会に呼びかけ地域ごとの安全教室実施や公民館事業と協働で実施など今以上の活動を要望。**市)** 様々な団体の協力も必要となり研究課題とする。
 ◆**地域の安全・安心の対応。****問)** ガス漏えい事故の状況は。**市)** 令和4年5月7日(土)午後6時59分本多4-11付近、ガス臭いと通行人119番通報。東京ガスは地中のガス管からの漏えいと判断、漏えい部

分を突き止める作業実施。国分寺消防署は9世帯17人避難が必要と判断、9時過ぎに本多公民館で受入れ、措置が終了し午後10時半帰宅。**問)** 今後の対応は。**市)** 地域防災計画の対策を基本とし状況に応じ柔軟な対応も大切と改めて認識。
 ◆**食料支援・暮らしの相談について。**社会福祉協議会の生活応援事業、令和3年度9月開始し月1回、毎回50世帯配布。**問)** 周知が重要、市や社協の周知は。**市)** 社協が広報紙、HP掲載、チラシ配布。市も同様な周知。相談窓口に来られた方へ手渡しで案内。より効果的な周知を社協と話し合う。**問)** 社協と連携して支援体制づくりは。**市)** 関係機関等情報共有し連携し

立憲・市民フォーラム
 はせば 豊子



引き続き検討。
 ◆**地域の生活支援について。**1) 認知症サポーターの方に認知症の方の支援につながる取組を望む。2) 介護サービスではできない生活のお困り事を住民主体による多様なサービスの仕組みづくりの検討を。3) 障がい者サポーター養成講座実施を要望。
 ◆**公民館の運営について。****問)** 公民館課に係る教育委員会事務決裁規程の一部改正。公民館運営に関わる重要事項は、教育委員会の議事になる前に公民館運営審議会への説明を。**市)** 今後も関係者に対しては丁寧な説明や情報共有を図っていく。

健康No.1シティ・選ばれる国分寺へ

健康寿命延伸 いきいき口腔健診事業の充実を
丸山) 当市には健康増進計画があるも数値目標はない。市の強み・魅力増進のため健康No.1シティ国分寺といったスローガンを掲げ、健康寿命の目標設定に取組むべきと考えるがどうか。
健康部長) 市民の健康に対する意識・関心は高いものと認識。提案を受け次期計画は全庁連携でデータや数値目標等に基づく策定に取組む。
丸山) 健康寿命延伸には歯・口腔の健康が強く関係する。市のいきいき口腔健診事業は現状対象が75歳以上だがスタートとして遅い。早期の対応が重要であり対象年齢の引下げを求める。
健康部長) 早い段階から健診対象とすることは

健診の効果的な実施や早期予防の観点からも重要な意見と認識。既存事業等の整理や実施体制等含め歯科医師会と協議して参りたい。
広報戦略 先進的手法の全市業務への展開を
丸山) 近年、市では街の魅力発信でユニークな広報手法を展開、高く評価している。この手法をルーティン業務にも展開し市民の市政への理解・関心醸成に努めるべきと考えるがどうか。
井澤市長) 広報は大切な業務で様々に取組みを展開してきたが今後さらに力を入れて参る。
創業支援 DX時代に即した支援体制を
丸山) 新型コロナの影響でビジネス形態は大きく変化。特にデジタル分野で支援が求められて

自由民主党市議員
 丸山 哲平



いる。選ばれる街となるため支援の充実を。
市民生活部長) 議員指摘の通り新たな強みを生み出す分野に特化した支援充実を努めたい。
国立駅北口での期日前投票所設置について
丸山) 市民にとって駅は最も利用頻度の高い場所。国立駅前での投票所設置は利便性と投票率向上に大きく資する。設置を強く求める。
選挙管理委員会事務局長) どうすれば設置出来るか、これまで出来ないとしてきた理由を課題と捉え解決に向け検討を進めて参る。
その他：電子図書館について質問。

高校生までの医療費助成の拡大を

中沢) 市は10月から中学生まで医療費の無料化を実施することは評価する。一方で東京都が来年度から高校生までの対象に助成する考えだ。これを生かして更なる拡充を求めるが。
市長) 事前に話しがなく、各市とも困惑している。明確でなく、反対ではないが、市区長会との話し合いを申し入れたところだ。
中沢) 小中学校の就学援助制度で、移動教室、修学旅行の費用は小6で3万5千円、中3で6万円と聞く。父母の事前納入の負担をなくすために事前給付か業者に市から一括納入に改善を。
部長) 事後の清算や手続き、振込の方法など難しいかなと思っている。

中沢) 就学援助の主旨や現下の経済情勢から暖かい支援、改善があって然るべきだ。
部長) 他市の状況も確認しながら研究したい。
ヤングケアラーへの支援と理解を
中沢) 小6年生で15人に1人(6.5%)大学生で10.2%が、大人にかわり家族の世話を日常的にしているとの厚労省の調査である。
 市は本年の施政方針で触れているが、その後の検討状況はどうか。
健康部長) 今年度は、理解を深め、存在に気づき、支援体制の構築などの準備をすすめ、市民や関係団体に講演会・講座を10月に。研修用の動画を購入、貸出しを行なう。

日本共産党国分寺市議員
 中沢 正利



子ども部長) 子ども家庭支援センターを中心に連携・検討をすすめ、相談支援総合調整会議の担当者会議で検討をする。
補聴器購入助成と事前事後の調整やケア支援を
中沢) 3月の議論で「買って使わない問題」があった。特性を理解しての調整やトレーニング、メンテなどの支援が大切だ。三鷹市、港区の例を参考に検討すべき。
部長) 市内のリオンKKの協力を得て、啓発や相談の機会を設けるなら一助となる。他市の事例の研究とあわせて検討してまいりたい。